



市社会福祉協議会の権利擁護事業

『ライフサポート事業』の紹介

「また来るね！」～生活支援員の仕事～



ライフサポート事業とは、65歳以上の高齢者、障がいのある人、難病疾患者などで判断能力が不十分な人、日常生活にお困りの人に対し、金銭管理や簡易な手続きの援助などを通して自立した生活ができるように支援していく事業です。

ライフサポート事業で活動する生活支援員の仕事を代表的な事例をもとに紹介します。

コンコンコン…玄関ドアをノックする。「Aさん来たよー」「はい。よるしく」いつもの部屋で待っている声。Aさんは80代、1人暮らしの男性。複数の高額な訪問販売の契約をして

いることを担当のケアマネージャーが心配し、ライフサポート事業の契約につながった。初めは「自分でできる」の一点張りであったが、今では月に2回の生活支援員の訪問を楽しみにしている。

生活支援員は支援計画（利用者の生活に合わせた毎月の具体的な支援内容）に沿って活動する。Aさんの家に行く前には、指定された金融機関で本人の代わりに生活費を払い出したり、Aさんが利用している福祉サービスの利用料の支払いを済ませておく。

「来たよー」声をかけるとニコリと笑うAさん。「ちよっとコレ見ちゃらんね」来て早々にAさんから封書を渡される。「何？これは税金の納付書やね。口座振替しなかつたの？」「ようわからんたい」「じゃあ口座振替の手続きしようかね。Aさんちよっとここに名前書いて…」

ライフサポート事業の生活支援員は利用者の代理人ではない。一つ一つ利用者に確認し、本人の意思を尊重し、時には助言しながら手続きや、日常生活に必要な金銭管理の手伝いをする。その日の支援の確認を済ませ、しばし雑談タイム。テレビのニュースや昔の武勇伝などの合間にふともらす一言。「最近はせないかんことをすぐ忘れるもんねえ」以前はできていたのに



社協だより

147号

平成25年8月1日 発行 社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会 〒811-3437 宗像市久原180 メイトム宗像2階 TEL 0940-37-1300

主な内容

- 「ライフサポート事業」生活支援員募集
24年度決算報告
障害者生活支援センター「ピアサポート事業」
在宅介護者1泊リフレッシュセミナー案内
ジュニアボランティアアスクール募集
要約筆記ボランティア「暖歩(ダンボ)」発会
おもちゃ図書館休館日のお知らせ

市社会福祉協議会は 市民の福祉向上を目指します

平成24年度決算報告 総額約2億9575万円

市社会福祉協議会は、市からの補助金・委託金をはじめ、共同募金配分金、介護保険報酬のほか、香典返しなどの寄付金で運営しています。

これらの財源をもとに、市民の皆さんの福祉向上のために次の事業に活用しました。

★福祉の里づくり事業の推進
市内13地区と41の行政区に福祉会を組織し、介護予防いきいき交流会事業(サロン)や、見守り活動などの地域福祉活動を推進しています。

★地域福祉・在宅福祉の推進
心配ごと相談、車いすの貸し出し、おもちゃ図書館、手話講習会、声の広報配布、歳末たすけあい募金、生活福祉資金貸付事業、社協だよりの発行などの活動を進めました。

★ボランティア活動・市民活動の促進
ジュニアボランティアアスクール、高校生ボランティアアスクール、ボランティア入門講座、福祉ボランティア養成講座、要約筆記ボランティアアフォーラアップ研修などを実施しました。

★福祉教育の推進
市内の小学校11校、1700人の児童を対象に福祉体験学習や、障がいのある人との交流会の実施を促進しました。

★開催箇所83カ所
▽口腔ケア16回
▽栄養指導36回
▽運動指導40回
▽地島ミニデイサービス年間6回、延べ参加者数70人
▽大島DEいきいき元気教室年間5回、延べ参加者数102人

★福祉団体の育成
次の団体の活動を支援しました。

★障害者生活支援センター事業の推進
市内に居住する障がい者の自立と社会参加を促進するため、福祉サービスの利用促進、各種情報の提供、相談・助言などをしています。

★介護保険事業の推進
市から委託を受けて要介護認定調査の実施と、根共同募金運動、判断能力不十分な人の自立生活を支援する「日常生活自立支援事業」、指定管理を受けている大島福祉センター「ふれ愛センター」の運営、自主財源の確保のための事業、第3次地域福祉活動計画の検証と見直しなどを進めました。

★介護認定調査件数2856件

そのほかに、地域福祉事業の財源となる赤い羽根共同募金運動、判断能力不十分な人の自立生活を支援する「日常生活自立支援事業」、指定管理を受けている大島福祉センター「ふれ愛センター」の運営、自主財源の確保のための事業、第3次地域福祉活動計画の検証と見直しなどを進めました。

★介護予防いきいき交流会事業
平成24年度の実績
▽開催回数442回
▽延べ参加者数8385人

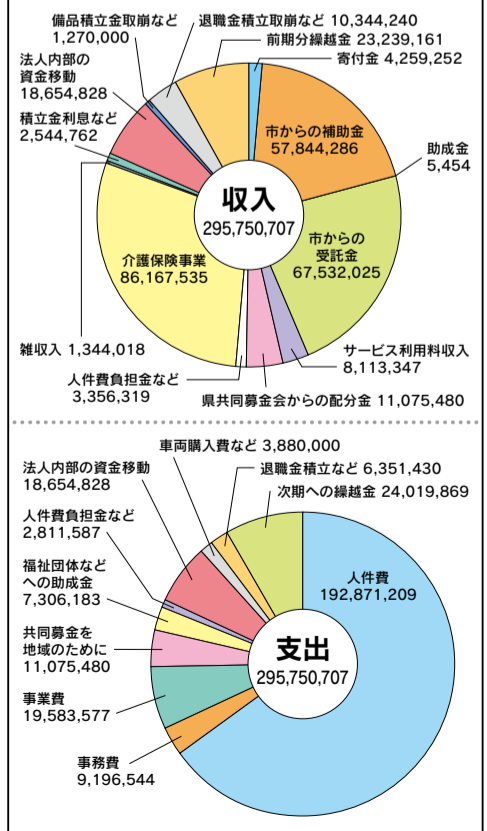
★開催箇所83カ所
▽口腔ケア16回
▽栄養指導36回
▽運動指導40回
▽地島ミニデイサービス年間6回、延べ参加者数70人
▽大島DEいきいき元気教室年間5回、延べ参加者数102人

★福祉団体の育成
次の団体の活動を支援しました。

★介護認定調査件数2856件

そのほかに、地域福祉事業の財源となる赤い羽根共同募金運動、判断能力不十分な人の自立生活を支援する「日常生活自立支援事業」、指定管理を受けている大島福祉センター「ふれ愛センター」の運営、自主財源の確保のための事業、第3次地域福祉活動計画の検証と見直しなどを進めました。

平成24年度資金収支決算額



# ほんのひと時、介護の手を休めて リフレッシュしませんか。

～在宅介護者1泊リフレッシュセミナーの案内～

市内在住で、在宅介護をしている人を対象に「在宅介護者1泊リフレッシュセミナー」を開催します。  
このセミナーは、在宅介護者のリフレッシュを目的として1泊で実施します。市社会福祉協議会の職員や市在宅介護家族の会「ひまわり」の役員も同行します。  
あなたも介護の手を休めて、同じ介護者との楽しいひと時を一緒に過ごしてみませんか。

- 主催 市、市社会福祉協議会
- 実施日 10月24日(木)～25日(金)
- 対象 市内在住で、在宅介護をしている人
- 行先 大分県九重方面(予定)
- 宿泊地 九重悠々亭(予定)
- 参加費 1人5,000円
- 募集人員 抽選で30人
- 申込方法 10月3日(木)までに市社会福祉協議会 ☎(37)1300へ



視覚に障がいがあっても音を頼りにフライングディスク!

同センターでは、障がいがある人で、楽しみながら仲間づくりをしたいピアサポート事業を実施しています。ピアサポートとは、「仲間同士の支え合い」という意味です。ここでは、ピアサポーター(障がいのある相談員)も一緒に活動しています。

今回は、秋頃の開催(内容未定)を予定しています。詳しい内容については、次号でお知らせします。みなさんの参加をお待ちしています。

問い合わせ先 同センター

☎(34)2411  
☎(34)2422  
FAX(34)2422

ピアサポート事業賑わう  
あなたも参加しませんか

## 障害者生活支援センター

土日曜日、祝日を除く、午前8時30分～午後5時  
☎(34)2411 ファックス(34)2422  
メールアドレス aaw09180@hkg.odn.ne.jp

5月26日、勤労者体育センターで「宗像市スポーツボランティアクラブ」の協力のもと、「軽スポーツを楽しまう!」をテーマに、ボランティアを含む33人が参加。参加者はバウンドテニス、フ



友達と協力してバウンドテニス!

日程	時間(予定)	内容(予定)	会場
8月21日(水)	9:00～16:00	開講式、レクリエーション ●ボランティア、ユニバーサルデザイン学習 ●高齢者疑似体験	メイトム宗像健診室など
8月22日(木)		●認知症について学ぼう ●プレゼント作り	
8月23日(金)		●フィールドワーク ・九州国立博物館ボランティアさんと交流しよう 閉講式	

- 対象 原則として市内の小学4年生～中学1年生
- 募集人数 20人(先着順)
- 日程・内容・会場 (左表参照)
- 参加費 1000円
- 申込先 同センター
- 申込締切日 8月13日(火)
- 申込先 同センター
- 第1土と日・祝日の申込はFAXまたはメールで受付
- (保険代、資料代、材料代)
- 申込締切日 8月13日(火)
- 申込先 同センター
- 第1土と日・祝日の申込はFAXまたはメールで受付
- (保険代、資料代、材料代)



小銭がうまくつかめません

## ジュニアボランティアスクール 参加者大募集

同センターでは、小学生を対象にジュニアボランティアスクールを開催します。ユニバーサルデザインやボランティア活動に関して、フィールドワークを通じ学びます。

## ボランティアセンター通信

日曜日 第1土曜日 祝日を除く午前8時30分～午後5時 ☎(37)4100  
ホームページアドレス http://kouyuuukan.com/v-net/  
メールアドレス v-net@syakyo.munakata.com

## はじめまして! 「暖歩(ダンボ)」誕生

「暖歩(ダンボ)」は、聴覚障がいや言語機能などに支障がある人々に対し、パソコンや筆記具を用いて話し言葉を要約する活動を主にするボランティア団体です。名前は、「ボランティア」を受ける側も提供する側も、共にあゆ(歩)むという意味が込められています。

また、この活動に興味のある人も募っています。センターにぜひご連絡下さい。

問い合わせ先 同センター

＊「要約筆記」について  
パソコン、ロール紙、ノートなどを用いて、発言内容や状況説明を打ったり、書くこと



心を込めて活動していきます!

「暖歩(ダンボ)」は、聴覚障がいや言語機能などに支障がある人々が、読み、理解する手法や方法、情報保障のもと、聴覚や言語機能などの障がいがあるために意思疎通を図りづらい人々の日常生活や社会参加を支援することが目的のボランティア活動。

## おもちゃ図書館 休館日のお知らせ

下記の日、盆休または臨時に休館します。お間違のないように、お願いします。

- 【休館日】
- 8月15日(木) ●10月12日(土)
- 問い合わせ先 同センター

## 寄付 ありがとうございます

ありがとうございます

- 〔香典返し〕(敬称略)
- ・(故)大和シマ子 (曲)
  - ・(故)山崎ミ子 (徳重)
  - ・(故)飯尾五月 (須恵)
  - ・(故)山下忠臣(日の里)
  - ・(故)鎌瀬マサ江(牟田尻)
  - ・(故)井澤文男 (稲元)
  - ・(故)濱田壽 (神湊)
  - ・(故)江頭金之介(日の里)
  - ・(故)木原繁 (城西ヶ丘)
  - ・(故)吉武シゲ子 (久原)
  - ・(故)目原春之 (大島)
  - ・(故)田志日佐志 (大島)
- 〔訂正文〕  
前号「社協だより146号」の寄付者に(故)福岡壽

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願い致します。

社協だよりは、偶数月の1日号です(年間6回)

## 社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 メイトム宗像内 ☎(37)1300  
大島支所 宗像市大島1809番地32 ふれ愛センター内 ☎(72)22904  
ホームページアドレス http://syakyo.munakata.com/  
メールアドレス info@syakyo.munakata.com